

**水**道水の安定した供給と震災への備えのために、**老朽化した水道管の布設替え**を行っています。

**5**年前の東日本大震災の際は、市内の水道管に影響はありませんでした。しかし、首都圏直下型地震など、近年起こりうる大地震に備え、計画的に水道施設の耐震化を進めています。

**も**しも、災害などで給水が止まってしまった場合でも、浄水場の配水池や貯水槽、自家発電設備を備えた深井戸があり、市民一人当たり約10日分の水が確保できる見込みです。また、非常時には、応急給水所を開設したり、地域防災拠点で給水車による飲料水の提供を行うほか、配水管路の早期復旧にも努めていきます。



☎水道施設課  
☎463-1204



**子**育て中の保護者が安心して育児ができるまちであるよう、市では**ファミリー・サポート・センター**（以下、ファミサポ）を運営しています。ファミサポでは、子育てを手助けしてほしい方（ファミリー会員）、子育てをお手伝いしたい方（サポート会員）お互いが会員となり援助し合っています。急な残業が入ったので保育園のお迎えをお願いしたい、体調を崩してしまい子どもの面倒を見てほしい、美容院でリフレッシュしたいわずかな時間だけ…などの援助の依頼に応えてくれます。

**フ**ァミサポを利用されたファミリー会員のIさん、T君（1歳2か月）親子と、お預かりしたサポート会員のKさんを訪ねました。



Iさんは、T君がまだ1歳にならない頃、1歳未満では公営保育園の一時預かりが利用できずファミサポを勧められたことをきっかけに、現在まで利用しています。

Kさんは数年前に近所のお子さんを預かる際、サポート会員になれば保険など万が一のフォローがありお互いに安心だと考え、養成講習会への参加を経て登録しました。現在までに5、6人のお子さんを預かってきたKさんですが、その成長を間近に見られることが楽しく、これからも積極的にお預かりしていくつもりです。

☎ファミリー・サポート・センター ☎485-2503



安全・安心な  
まち

## シリーズ “暮らしつづけたいまち”を 目指して

「私が暮らしつづけたいまち 朝霞」は、今年の4月にスタートした朝霞市の最上位計画「第5次朝霞市総合計画」がこれから10年間にわたり共通の目標とする姿です。

子育てが  
しやすいまち

つながりのある  
元気なまち

では、どのようなまちであれば、「私が暮らしつづけたい」と思えるのか…まちの具体的な姿を4つの基本概念（コンセプト）としてまとめました。このコンセプトを市民の皆さんと市で共有し、同じ方向を向いて力を合わせて取り組んでいくこととなります。

その一場面をこれから毎月紹介していきます！

☎政策企画課 ☎463-3089



自然・環境に  
恵まれたまち

**豊**かで活力ある地域社会の実現を目指し、市では社会に貢献しようとする**市民や市民活動団体へ支援**を行っています。

**活**動経費の補助のほか、シニア世代の地域活動の参加を促すため、「シニア世代の地域デビュー支援セミナー」として、地域デビューのノウハウを学ぶ講座などを市民活動団体と協働で開催してきました。今年の3月に開催した「さくらのバグチャームづくり」は、日本の伝統美を伝えている市民活動団体『和のここと遊び』との共催です。

**代**表の石川さんは、日本の伝統や文化を形式ばって学ぶのではなく、普段の生活の中で四季に合わせて楽しく触れてほしい、ひとを敬い相手を思いやれる日本の心を学んでほしいと考えています。次の企画は親子で楽しむ「茶の湯遊び」。



9月4日(日)中央公民館で開催します。日本の伝統や文化をまずは地域に、やがては世界に発信していくことが願いです。

☎市民活動支援ステーション・シニア活動センター ☎463-1417



**わ**くわくどーむ前のラベンダー畑は、毎年7月頃、美しい景観と優しい香りを訪れる人たちに与えてくれています。

**子**どもからお年寄りまで様々な方が交流しながら「彩りあふれるみどりの朝霞」をつくる取り組みのひとつとして、市内の公園や緑地で四季を通じて楽しめるよう、市民ボランティア団体の皆さんに花の植栽や管理をいただいています。



**ボ**ランティア団体による公園の管理の輪が広がり、地域のみどりを大切にする気持ちが各地で育まれていくよう、市もサポートしています。企業など、事業者さんの参加もお待ちしています。



☎みどり公園課 ☎463-0374

